

北海道医療費適正化計画[第2期]の進捗状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	見解	備考
住民の健康の保持の推進										
特定健康診査の実施率(%)	32.6%	34.9%	36.7%	36.4%	37.4%	39.3%	—	69%	年々実施率は向上しているが、目標及び全国平均との開きがあるため、受診勧奨などの取り組みの一層の推進が必要である。	平成27年度 全国実施率 50.1%
特定保健指導の実施率(%)	12.0%	11.8%	15.7%	13.2%	12.9%	13.5%	—	45%	前年度と比べ、0.6%増加しているが、目標及び全国平均との開きがあるため、特定健診と同様に勧奨などの取り組みの一層の推進が必要である。	平成27年度 全国実施率 17.5%
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(%)	1.44%	△1.31%	1.61%	2.30%	1.85%	1.22%	—	25%	目標及び全国平均との開きがあるため、保健指導などの取り組みの一層の推進が必要である。	平成27年度 全国減少率 2.74%
医療の効率的な提供の推進										
医療機能の強化・連携等を通じた平均在院日数の短縮(日)	35.3日	34.7日	33.8日	33.3日	32.5日	31.4日	30.9日	33日	平均在院日数は年々減少しており、平成26年で目標値を達成している。	平成28年 全国平均在院日数 27.5日 ※ 平均在院日数は暦年単位で記入
医療に要する費用の見通し										
医療費(億円)	—	1兆9,857億円	2兆8億円	2兆495億円	2兆613億円	2兆1,184億円	—	2兆2,755億円	平成27年度実績額は対前年度比571億円増(2.8%増)となっており、引き続き医療費適正化に係る取組を総合的に推進する必要がある。	平成23、26、27年度は国民医療費公表値、平成24、25年度は国の推計値を記載。